

用地の比較評価項目検討資料（その２）、「一次評価」の項目について（意見等）

平成25年10月22日

渡辺忠明

閉め切りを過ぎての追加意見で申し訳ございません。

一次評価の項目、17の「ヒートアイランド現象」は削除を皆様にご検討頂きたく存じます。

（理由）

既存の中間処理施設により、廃熱が周囲に悪影響を及ぼしたというお話は聞いておりません。よしんば、廃熱が周囲に悪影響を及ぼすほどであれば、中間処理施設を検討する基本計画検討委員会で、その廃熱もエネルギーとして有効利用するものとすべきです。

そもそも、ヒートアイランド現象は、環境省によれば、「都市の中心部の気温が郊外に比べて島状に高くなる現象です」と有り、面的に広がりのある現象で、焼却炉のような、点的な施設の熱で起きる現象ではありません。

しかも、焼却炉の廃熱に問題があるとすれば、何処の土地を選んでも、選択先で、大幅に影響の度合いが変わるとは考えがたいものと思います。（理想的には、コンクリートジャングルの土地と、農地、里山の林に囲まれた場所では違いが有るのではないかとの主張はあり得ますが、焼却炉のような点的施設が、ヒートアイランド現象を加速するとは考えにくいと思います。

よく、地球温暖化とヒートアイランド現象を同一視しがちですが、分けて考えるべきものです。つまり、温室効果ガスによる温暖化は大気圏の上空の話であり、例え、焼却炉の熱が周辺に高温化の影響を与えていたとしても、区別して考えるべきものです。

しかしながら、無関係ではありません。環境省の資料では、「日本の大都市においては、地球温暖化による気温上昇にヒートアイランド現象がもたらす気温上昇が加わって、都市の温暖化が進んでいると言えます」と有り、地球温暖化とヒートアイランド現象は、一応、区別して考えるべきものです。

（追記）

住民の皆様は、「当委員会は、ヒートアイランド現象も視野に入れて検討してますよ」とご安心頂くために残すというので有れば、一考の余地があるとは思いますが。